

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	乳幼児健診における問診項目の見直し						掲載ページ
							66
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		25,335 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	27,275 千円	施策名	母子保健	担当課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	乳幼児健診等における発達障害の早期発見の精度を上げ、標準化するため、受診票の問診項目の見直しを行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母子保健調査研究事業(小児保健研究会)において、発達障害を早期に発見するための乳幼児健診項目について検討します。また、その結果を踏まえ、関係機関と協議します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標			【活動の状況】	
	問診項目の見直しの推進(検討会の設置)	1回	検討会の実施	3回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	乳幼児健診の項目を見直すことで、発達障害を早期に発見し、支援に繋がります。そのために医療関係者、大学関係者など専門家と検討会を実施します (最終目標と最終年度)						
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 検討会で話し合った結果、問診項目の見直しだけでなく、確実な問診等により、発達障害の早期発見の精度を上げることが必要だと判断しました。関係機関(北九州地区小児科医会、乳幼児保健・学校保健・障害児対策委員会など)と検討を行い、1歳6か月児の健診時のマニュアルを見直したので、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 効果的に実施できるよう関係機関と連携する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
発達障害等発達が気になる子どもの早期発見の精度を上げるため、3歳児健康診査の、健診時のマニュアルの見直しに取組みます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	乳幼児発達相談指導事業(わいわい子育て相談)の拡充						掲載ページ
							66
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		25,335 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	27,275 千円	施策名	母子保健	担当課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	心身の発達が気になる乳幼児について、医師・臨床心理士・保育士等がチームで相談に応じ、保護者の育児不安に対応することで、発達障害等を早期に発見し、乳幼児の健全な発達を支援します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	親子を対象にした遊びや相談に応じる教室を実施し、子どもの発達を促すとともに、親の育児不安の軽減に繋がります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	わいわい子育て相談の実施回数	105 回	168 回	104 回		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	発達が気になる子どもを早期に発見し、親子を支援するために相談体制の充実が必要です。 (最終目標と最終年度)			61.9 %			
	わいわい子育て相談の参加者数	366 人	増加	364 人		順調 やや遅れ 遅れ	順調
発達相談の中で気になる子どもを早期に発見し、支援するために相談体制の充実が必要です。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		発達障害に対して保護者の不安に答えられる相談が求められていることから、開催回数は増やしませんでしたが、保護者の不安の軽減と早期発見及び早期支援ができる体制を目指して、24年度に取り組むべき区の重点課題にあげて、実施できたので順調と判断しました。これからも、関係機関と連携を維持して効果的な事業を実施します。
		医療関係者等の専門職が実施していることから、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること

発達障害を早期に発見し支援することは、子どもの健やかな発育を促し、保護者の不安の軽減や様々な問題を予防につながります。発達に気になる乳幼児に対する早期発見及び早期支援体制の強化が求められていることから、確実な開催や関係機関との連携を強化する等、事業の充実が必要です。発達に気になる乳幼児を早期に支援するために、相談事業の拡充や連携体制について、関係機関と協議し、効果的な事業の推進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	親子通園クラスの設置						掲載ページ
							46
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,606 千円	3,150 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画					【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 直営保育所へ新たに「親子通園クラス」を設置し、発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを設置し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	親子通園クラスの利用者数	2 所	2 所	2 所 100.0 %	大変順調	
	親子通園クラスを設置し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談等を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。 （最終目標と最終年度）7ヶ所、平成26年度					
					順調	
				やや遅れ		
				遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ132組、東篠崎保育所は延べ137組の親子が利用しました。通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、次年度の移行先が決定した世帯も75%を超え、移行支援としての成果も出ています。全国的にも例のない事業です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の経費資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
実施している2ヶ所について検証していきながら、関係機関との連携、PRを行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援をおこないます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	発達障害者支援センターの充実						掲載ページ
							178
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		9,336 千円	9,616 千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	発達障害者支援センター西部分所を設置し、本市西部地区の発達障害のある人に対する支援の充実を図るとともに相談支援体制の強化を図ります。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	発達障害者支援センター西部分所において、主に本市西部地区の発達障害児・者及びその保護者を対象に、相談支援等を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	発達障害者支援センター西部分所の相談支援件数	491 件	増加	486 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「相談支援件数」の増加が、利用者の悩みや不安の解消につながり、ひいては、相談支援体制の強化の判断基準となるため、成果指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)					
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	前年度実績から「相談支援件数」は微減となりました。しかし、本事業は、本市西部地区の発達障害者の相談支援機関として中核を担っており、相談支援体制の強化を図る上で、重要な役割を果たしています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は、発達障害に関して専門的知識を持った事業者に委託しており、経済性及び効率性に配慮した事業展開を図っています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
本市西部地区の発達障害者に対する支援体制の整備を着実に推進するために、今後も継続して実施します。今後とも、積極的な広報活動により利用者の増加に務めるとともに、支援の充実を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	専門機関との連携による保育所での発達支援の充実						掲載ページ
							44
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所と、「子ども総合センター」「総合療育センター」など専門機関との連携を強め、保育所に通うLD、ADHD、高機能自閉症のある子どもなどへの支援の拡充を図ります。特に今後の課題として、保育所における対応のあり方、専門機関との役割分担、保護者への支援のあり方等について検討を深め、支援に取り組みます。			活動実績	個別支援計画を作成し、障害児とその保護者支援を行う。 職員の資質向上のための取り組み ・研修の充実 ・施設見学・実習の実施	
活動計画	専門機関と連携して、発達障害児やその保護者への支援に取り組みます。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	【活動の状況】		
	専門機関と連携した発達障害児の支援				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	子ども総合センター・総合療育センター・障害福祉センター等専門機関と連携し、発達障害児の支援の拡充を図ります。 (最終目標と最終年度)					大変順調	
	保護者支援の取り組み				順調		
保育所と家庭がそれぞれの生活状況を伝え合い、共通理解を深めながら、個別の支援計画を作成し、保護者の悩みなどを支えます。子ども一人ひとりの状況に応じ、専門機関との連携を図ります。 (最終目標と最終年度)				やや遅れ	順調		
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子どもの発達相談や保育への個別支援、研修などを通して、支援に取り組みました。一人ひとりの障害はさまざまであり、その状態も多様であるので、障害のある子どもの保育にあたっては、専門機関と連携する機会を多く持つことが重要で、有効性は高いと考えられます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市の規定に基づく専門講師や既存施設を活用し、合理的に実施していきます。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること	
<p>今後とも専門機関との連携を深め、保育所における対応のあり方など研修を通して、発達障害のある子どもへの支援の充実を図ります。関係機関との連携を図ると共に、保育士を対象に発達障害への理解を深め、支援できるよう研修会を実施します。また、発達障害児に関わる他局と連携し、職員間での交流を図り、一環した支援を行える体制作りに取り組みます。</p>	

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	「発達障害者のためのサポートファイル」普及事業						掲載ページ
							184
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		930 千円	963千円の一部	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	発達障害の理解を促進するとともに、ライフステージにおける一貫した支援を推進するために、保護者をはじめ、学校や医療機関などに対して、「発達障害者のためのサポートファイル」の普及を図ります。			活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	保護者や教育関係機関の職員等に対する説明の機会を設けて、サポートファイルの有効性をPRします。また、アンケート等を通じて利用者のニーズに沿った改善を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	「発達障害者のためのサポートファイル」発行部数	200部	維持	200部	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	「発行部数」の増加が、発達障害者への普及の判断基準となるため、成果指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)			%			
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	サポートファイルを発行し、各関係機関へ普及活動を行うことで、着実にサポートファイルが浸透してきています。本事業は、ライフステージを通じた支援を円滑に行うためには重要な事業であり、発達障害者の支援の充実には必要不可欠です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	サポートファイルを作成する際、よりよい経済的な業者を選定し、作成します。また、利用者アンケートなどをもとに、サポートファイルをより充実した内容とします。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
ライフステージを通じた一貫した支援を行うため、「発達障害者のためのサポートファイル」の普及は必要不可欠なことから、今後も継続して実施します。教育関係機関等を中心に、説明会を行い有効性をPRするなど、広報活動を積極的に行なうことにより、小中学校との連携強化を通じた更なる支援の充実を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	発達障害者総合支援事業						掲載ページ
							184
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		642 千円	207 千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	乳幼児期から成人期までの一貫した支援を行うために、医療・保健・福祉・教育などの関係機関が連携し、発達障害に関する市民啓発を実施するなど、各種サービスの充実を図ります。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	広く一般市民を対象に、発達障害に関する理解と認識が深まるようなシンポジウムを開催します。また、発達障害啓発週間を広報するため、街頭啓発等のイベントを行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	街頭啓発やシンポジウムの開催	1回	維持	1回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	街頭啓発やシンポジウムの開催は、発達障害に関する普及啓発の判断基準となるため、成果指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)					
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画通りに進んでいます。発達障害に対する普及啓発を図るためには重要な事業です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は、発達障害に関して専門的な知識を持った事業者に委託しており、経済性及び効率性に配慮した事業展開を図っています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
家族会との意見交換やイベントの効果検証などを通じて、より効果的な普及活動を検討し、実施することにより、発達障害に対する理解と認識がさらに深まっていくことを目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	総合療育センター等の専門スタッフの派遣						掲載ページ
							44
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	保健福祉局
		72,114 千円	70,153 千円	施策名	保育サービス	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等に「総合療育センター」や「発達障害者支援センター」から専門スタッフを派遣し、指導・助言を行うとともに、保育士等の職員研修を充実することで、障害のある子どもの特性やかかわり方の理解を促進します。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	発達障害者支援センター及び地域支援室の指導実施件数	163 件	維持	161 件	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行うことは、保育所等の専門性向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)				大変順調	
					順調	
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ	
					遅れ	
					遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	発達障害児等に関わる保育所や学校などからのニーズは続いており、前年度に引続く派遣を実施することができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	専門スタッフを派遣できる団体に委託することで、より低いコストで実施することが出来ました。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
平成25年度から26年度にかけて、障害児支援として児童発達支援センターによる「保育所等訪問支援」事業が順次実施される見込みです。「保育所等訪問」支援事業は主に障害児を対象とする予定ですが、障害かどうかはっきりしない児童などへの支援など、専門スタッフの派遣ニーズは高く、引き続き新事業の導入をみながら実施していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	総合療育センターの機能の強化						掲載ページ
							173
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		2,954 千円	3,027 千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	医師をはじめ臨床心理士などの専門スタッフの充実等を図るとともに、「総合療育センター」の地域支援室による地域の保育所、幼稚園や通園施設等への支援の強化や市西部地区の障害のある子どもの支援について検討します。（総合療育センターは指定管理者が運営）			活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	医師確保に向けて大学医局への働きかけ等、必要な支援を行うとともに、機能強化に向けた取組みを継続します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	施設一般指導事業実施件数	151 件	維持	161 件	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児（者）の療育に関する技術の指導を行うことは、保育所等の専門性向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）				大変順調		
					順調		
	（最終目標と最終年度）				やや遅れ		
					遅れ		
					順調		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	発達障害児等に関わる保育所や学校などからのニーズは続いており、前年度に引続く派遣を実施することができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	専門スタッフを派遣できる団体に委託することで、より低いコストで実施することが出来ました。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
総合療育センターは、再整備される予定です。（平成30年度目標） 今後は、再整備後の体制についても検討を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	医療機関との連携強化						掲載ページ
							174
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		936 千円	427 千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	医療従事者を対象とした研修会などを実施し、発達障害に対する理解を促進します。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。		
活動計画	医療従事者のニーズに留意しながら、発達障害児・者の診療に関する研修会などを開催します。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	【活動の状況】		
	研修の受講者数	70 人	増加	130 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	発達障害の理解を促進するには、医療従事者が研修を受講することが必要であるため、「研修の受講者数」を活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)			%			
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	前年度実績を上回りました。アンケートの中には「理屈では分かっているけど、どうしても自分の価値観で接することがあり反省している。もう一度基礎から見直そうと思った」など、とても好評でした。本事業を実施することで、発達障害に対する理解を深め、発達障害の診断等を実施できる医療機関が増加するとともに、発達障害者支援センターとの連携強化を図ることができるため、効果は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は、発達障害に関する高い専門性や経験を積んだ事業者に委託しており、経済性及び効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> 医療の現場においても、発達障害者の特性に適した対応が必要なことから、今後とも継続して実施していきます。 また、発達障害の診断などを市内一円でを行うためには、医療機関や医師との連携が必要であることから、研修会を通じて周知等を行っていきます。